



# 令和7年度ベトナム現地視察案について

令和7年2月 島根県土木部



# 現地視察概要

## 1. 趣旨目的

島根県とベトナムとの直行チャーター等を活用し、人材送付や育成に関わるベトナム現地の関係機関の視察や意見交換を行い、県内建設事業者の外国人材に関する理解を深め、活用に向けた検討を促す。

## 2. 時期及び日程

2025年度早期（6～7月を想定）

※出雲空港とノイバイ国際空港との直行チャーター便（ベトナム航空）**第三弾**を利用

## 3. メンバー（予定）

島根県土木部

島根県内の建設企業（元請業者及び専門工事業者）、建設コンサルタント企業

## 4. 求める人材

技能者（skilled worker）及び技術者（engineer）

## 5. 訪問先について

＜考え方＞

- どういう人材が、どのような教育を受けているのか、実際に見てもらう（日本語教育の状況やレベル など）
- ベトナム人材を受け入れることのメリットや留意点を理解する
- ベトナム建設事情やベトナム人技術者のレベルなどを理解する（実際の施工現場の様相や雰囲気 など）
- ベトナムという国への理解を深める（ハノイ／ホーチミンそれぞれの文化等）
- 「有力な」現地の関係機関との接点を持つ（ベトナムトップレベルの実績／島根県企業への紹介実績 など）

# 訪問候補先について

➤ 以下の機関を訪問する方向で調整中 ※赤字：日系公的機関、青字：ハノイ所在、緑字：ホーチミン所在

## ①公的機関

### ●日系機関

- ・ 在ベトナム日本国大使館：ベトナム全般概況や建設分野（建設市場）についてのレクチャー
- ・ JETROハノイ事務所：ベトナム経済概況やベトナム人材についてのレクチャー
- ・ JICAベトナム事務所：ベトナム人材についてのレクチャー

## ②技能者(worker)関係

### ●送出機関・日本語学校

- ・ ESUHAI
- ・ VITECH      ほか  
：ベトナム人材への日本語教育等の状況を視察  
ベトナム人材を受け入れることのメリットや留意点の理解

## ③技術者(engineer)関係

### ●大学（理工系の大学）

- ・ ハノイ鉱山地質大学、フンイエン技術師範大学 など  
：ベトナム人理工系学生の就職動向に関する意見交換  
今後の取組（学生と県内企業とのマッチング企画など）への協力依頼

## ④共通

### ●現地の日系建設企業

- ・ 鹿島ベトナム  
：ベトナムでの施工現場の視察  
ベトナム人技術者に関する意見交換（技術レベル、日本語能力、マインド、特徴、留意点など）

# 行程イメージ

※注: 予定であり確定したものではありません

- 一般販売されるツアー商品とは別に、**視察団用の特別な行程を設定**
- チャーター便は集客の観点から土曜出発となる可能性が高いことから、オフィスがクローズする**土日にも有効に活用した行程**を検討中

初 日(土)	チャーター便で出国(出雲縁結び空港⇒ノイバイ国際空港@ハノイ)  ● <b>セミナー・交流会</b> ・日系公的機関(日本国大使館、JETRO、JICA)を招待して実施
二日目(日)	移動(ノイバイ国際空港⇒タンソンニャット国際空港@ホーチミン)  ● <b>ベトナム文化観光視察</b> (ハノイ/ホーチミン)
三日目(月)	● <b>ホーチミン視察</b> ・鹿島ベトナム(事務所訪問 ⇒ 施工現場視察) ・ESUHAI  移動(タンソンニャット空港⇒ノイバイ国際空港)
四日目(火)	● <b>ハノイ視察</b> ・VITECH ・ハノイ鉱山地質大学 ほか
五日目(水)	チャーター便で帰国(ノイバイ国際空港⇒出雲縁結び空港)

## 参考(事前訪問の様様)



● ESUHAI: ホーチミン所在の送出機関  
(ベトナムトップクラスの実績)

左: ESUHAI外観

下: 日本語教育中の学生と交流



## 参考(事前訪問の様様)



- VITECH:ハノイ所在の送出機関  
(島根県企業への送出実績あり)

左:VITECH外観

下:日本語教育中の学生と交流



## 参考(事前訪問の様様)



- ハノイ鉱山地質大学  
ハノイ所在の理工系大学  
(土木系エンジニアを輩出)

左: 大学外観

下: 建設学科(学生数1,200名)の学科長らと  
意見交換



## 参考(事前訪問の様様)



鹿島ベトナム: 鹿島のベトナム現地法人  
(ベトナムでの民間建築工事を施工)

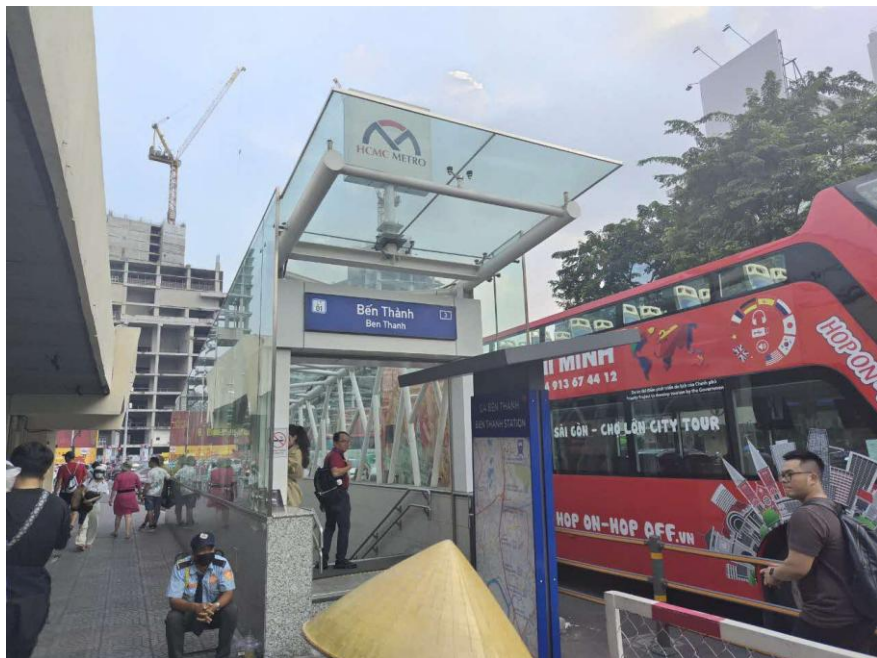
左・左下: 建設現場(イオンモール)の視察

下: 事務所での会社説明及び意見交換





## 参考(事前訪問の様様)



ホーチミンメトロ: 昨年12月に開通  
(日本のODAで建設、日系ゼネコンが施工)

左: メトロ入口

左下: ホーム

下: チケットカウンターには長蛇の列  
(券売機は未稼働)

